

令和2年2月11日

このまちの子どもの権利を考える基調講演&パネルディスカッション

富士市子どもの実態と意識に関する アンケート調査結果について（一部抜粋）

富士市福祉こども部こども未来課

【目的】

子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた「子どもの権利条約」の理念を、市民の皆様にも意識を深めていただき、子どもの最善の利益の実現を第一に考えた「（仮称）富士市こどもの権利条例」を令和3年度中の制定を目指しています。

この条例を策定するための基礎資料とするために、市内の小学生、中学生及び高校生とその保護者に対して、実施をしました。

【調査方法】

○調査対象

- ①市内全小学校の5年生から6年生の各学年一学級とその保護者
- ②市内全中学校の1年生から2年生の各学年一学級とその保護者
- ③富士見中学校1年生から3年生の全生徒とその保護者
- ④富士市立高校1年生から3年生の全生徒とその保護者
- ⑤適応指導教室「ステップスクール・ふじ」に通う中学生20人

○調査期間 令和元年10月2日～令和元年12月25日

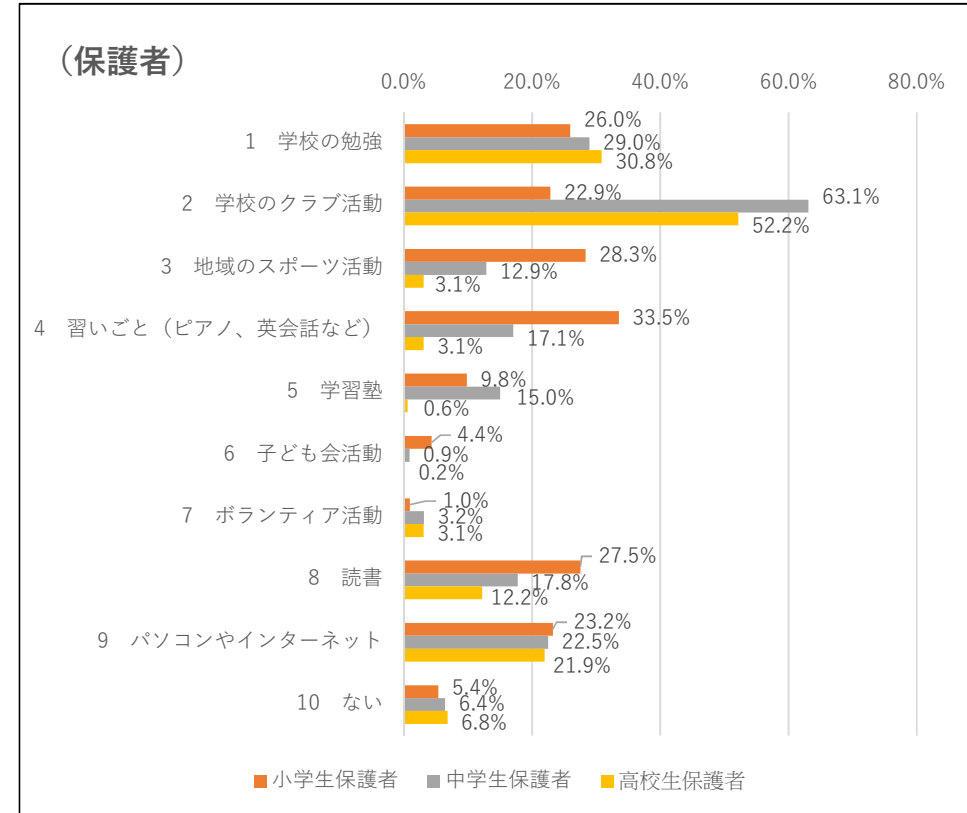
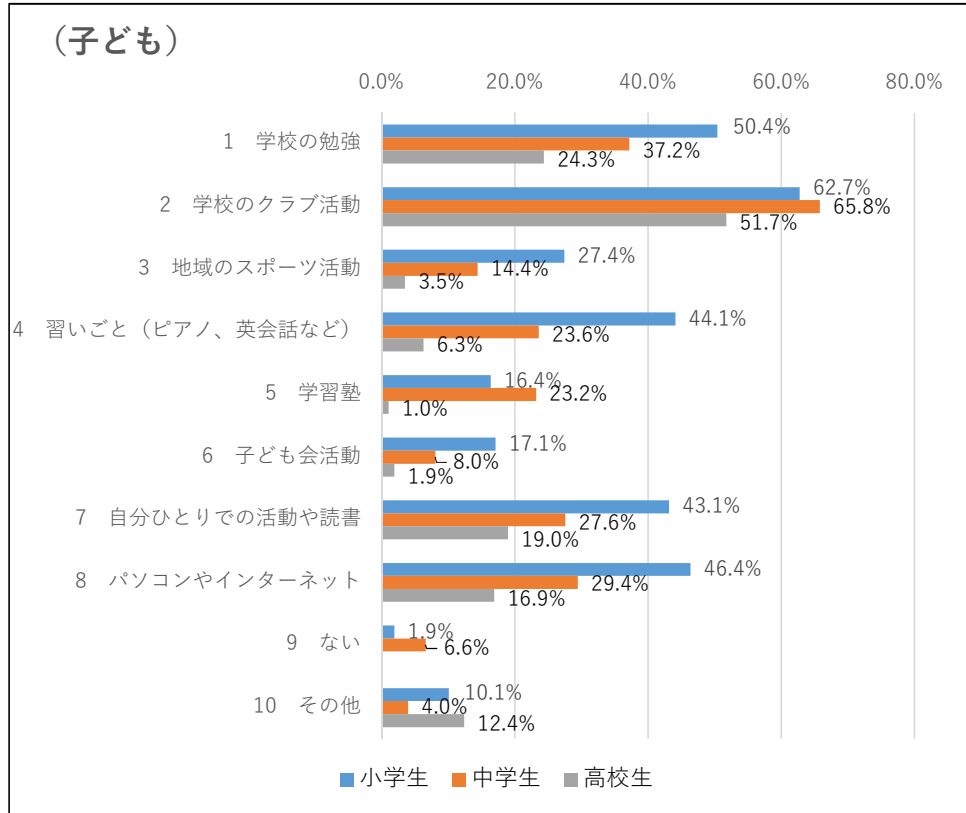
○調査方法 直接学校へ配付及び回収

○回収状況

	配布数	回収数	回収率
小学生	1,486	1,363	91.7%
小学生（保護者）	1,486	1,351	90.9%
中学生	1,057	1,025	97.0%
中学生（保護者）	1,037	884	83.6%
市立高校	708	686	96.9%
市立高校（保護者）	708	483	68.2%
合計	6,482	5,792	89.4%

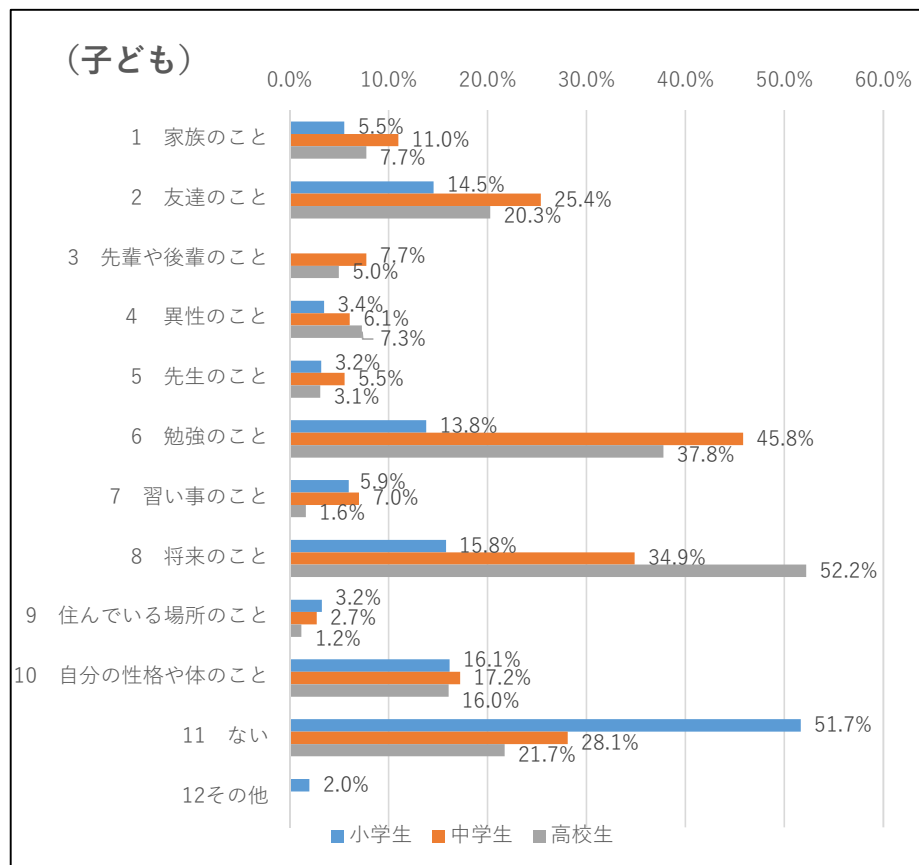
Q 今、あなたが打ち込んでいること、やりがいを感じていることは何ですか。

Q お子さんが、いまうちこんでいること、やりがいを感じていることは何だと思いませんか。

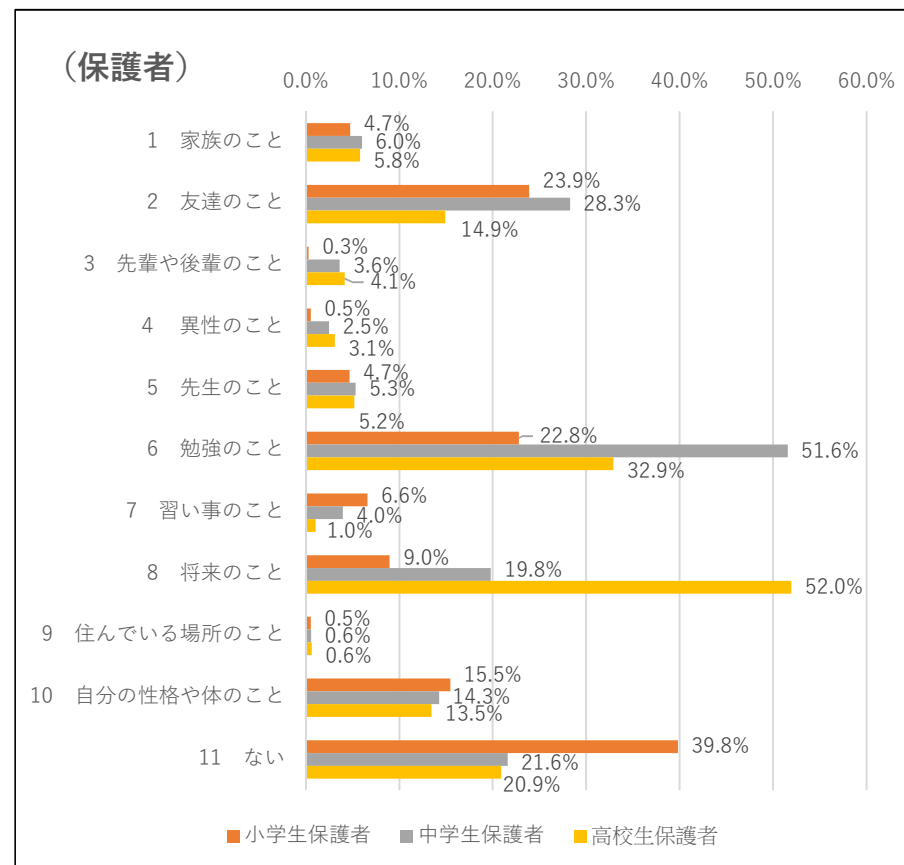


- ・小学生、中学生、高校生とも学校のクラブ活動が最も多い。
- ・保護者は、小学生では習い事が多く、中学生、高校生では学校のクラブ活動が多い。

Q あなたが、困ったり、悩んだりしていることはどんなことですか。

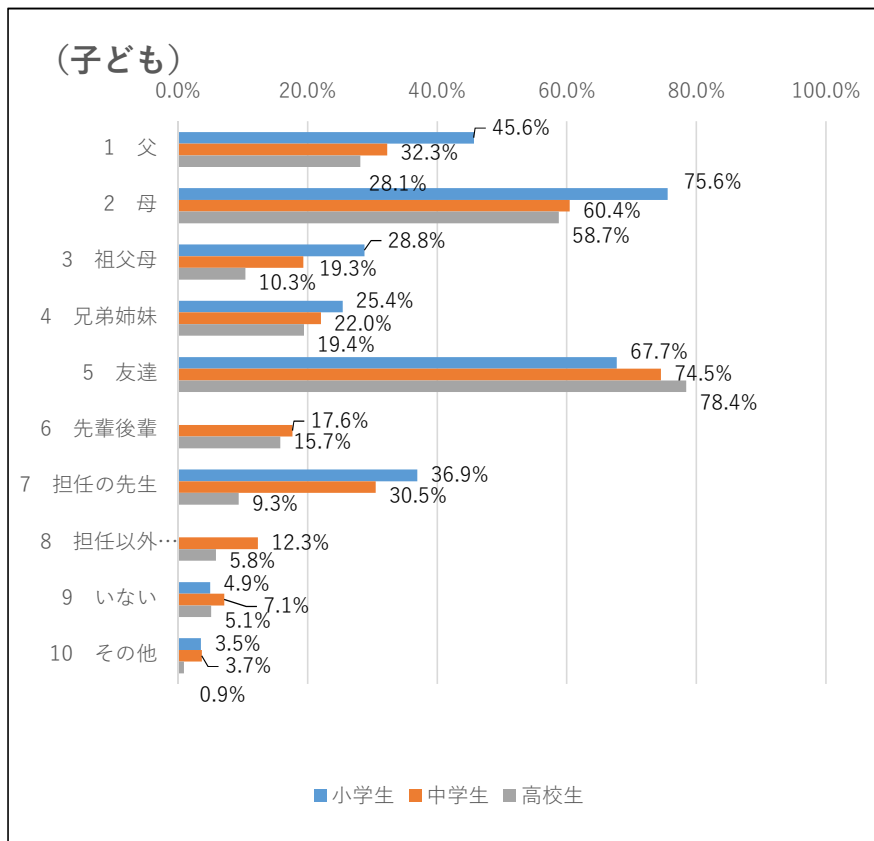


Q お子さんが、困っていることや悩んでいることは、どんなことだと思いますか。

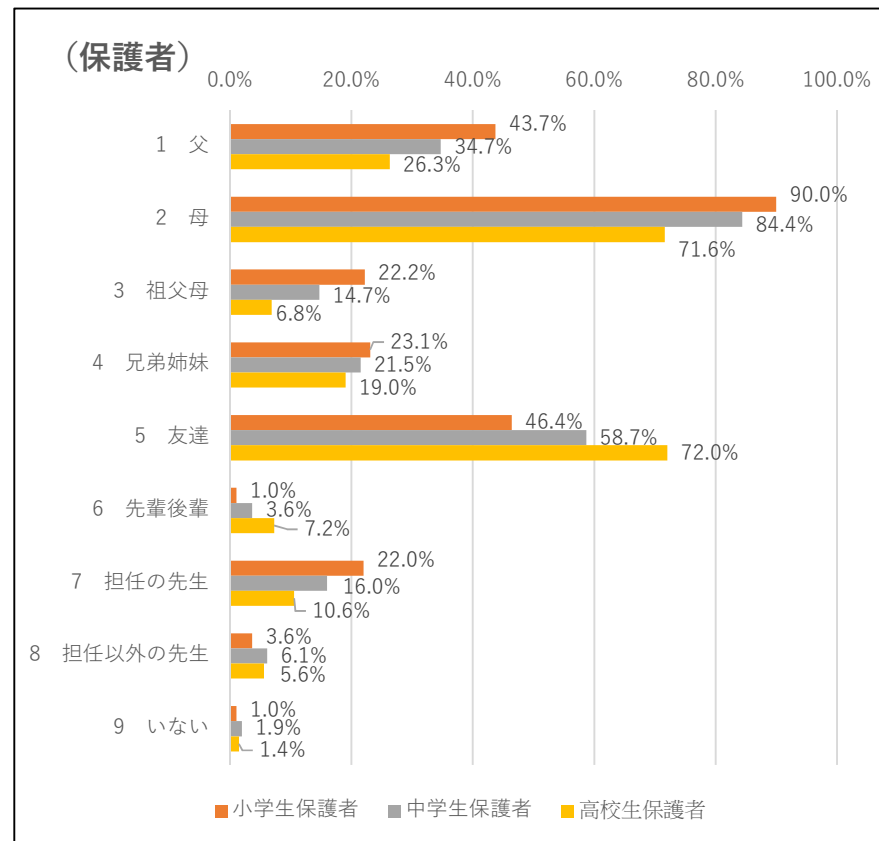


- ・小学生は「ない」と答えた児童が多く、中学生は勉強のこと、高校生は将来のことが多い。
- ・保護者も同じような傾向だった。

Q あなたが、困ったり、悩んだりしたとき、相談できる人はだれですか。

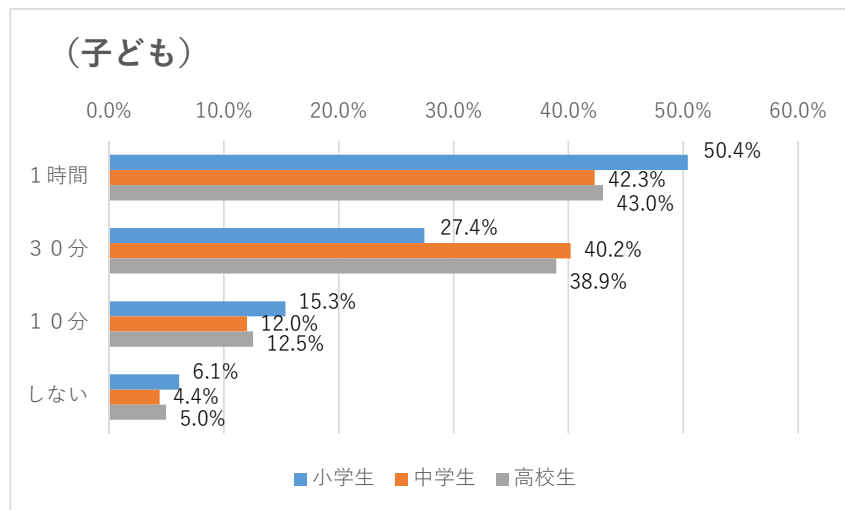


Q お子さんが、困ったり悩んだときに、相談するのは誰だと思いますか。

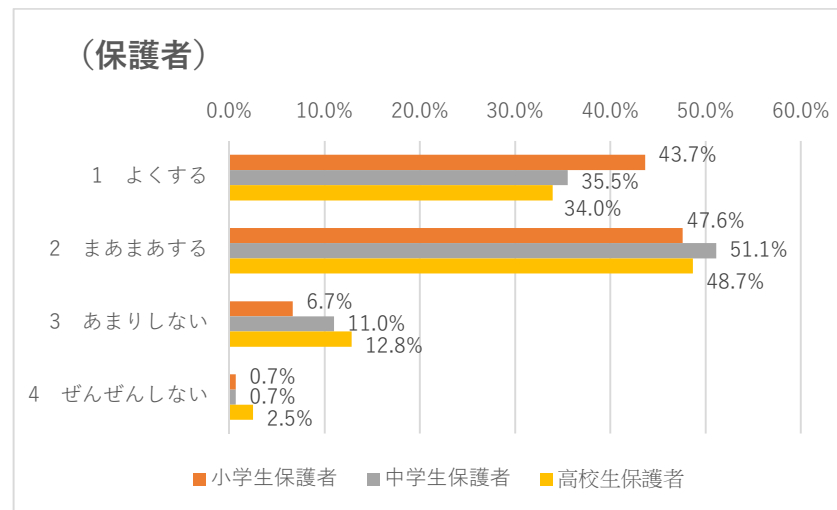


- ・小学生では母親が多いが、年齢が上がるにつれて友達が多くなる。
- ・保護者は母親が多いと思っているが、実際には友達も多い。

Q あなたは、1日（平日で学校のある時）に、家族とどのくらい話をしますか。

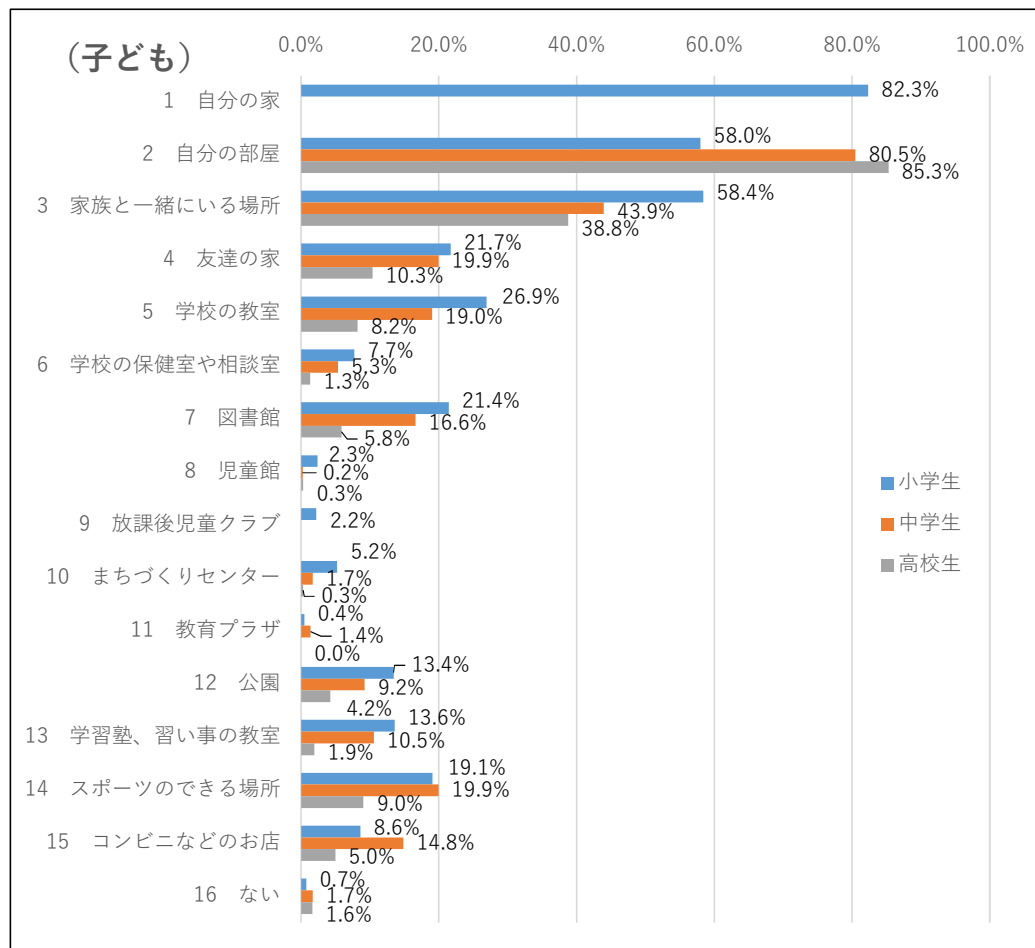


Q あなたは、1日（平日で学校のある時）に、お子さんとどのくらい話をしますか。

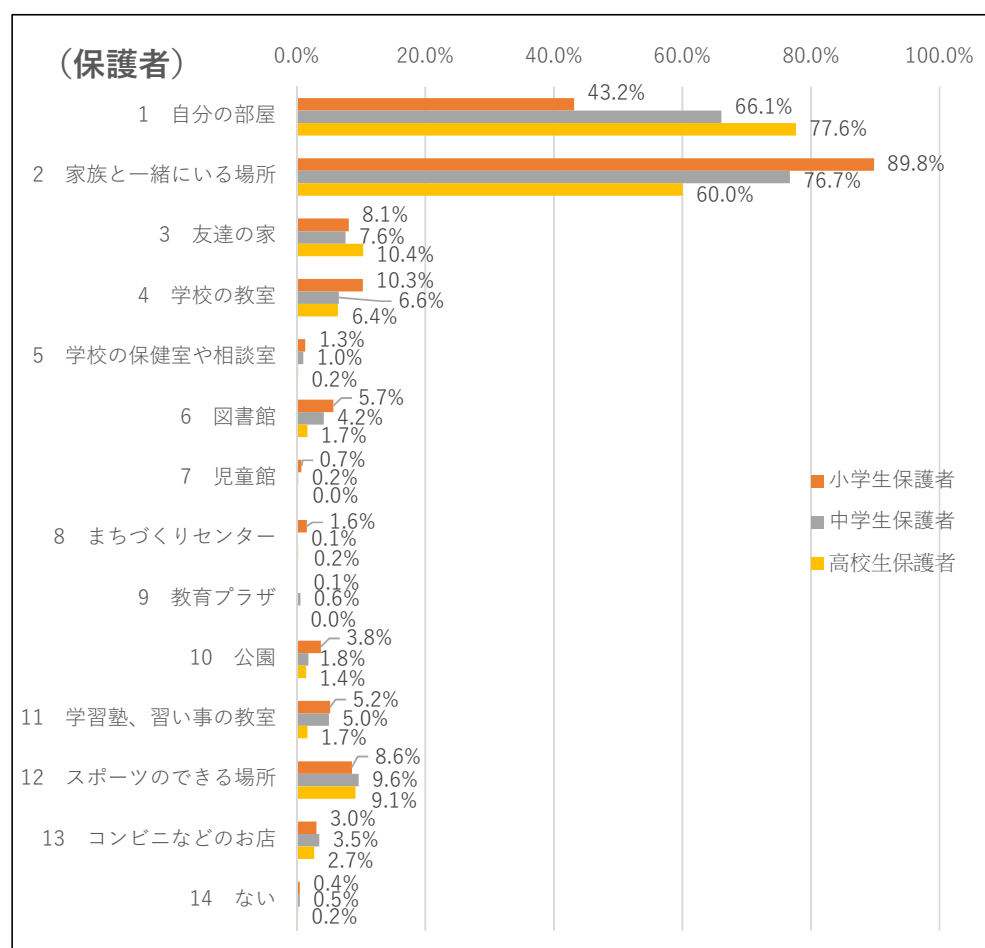


- ・小学生、中学生、高校生とも1時間が一番多い。
- ・保護者は「まあまあする」と答えた方が多い。

Q あなたにとって、ほっとでき、安心していられるところはどこですか。



Q お子さんが、ほっとでき、安心していられるところはどこだと思いますか。



・小学生は自分の家や、家族と一緒にいる場所が自分の部屋と同じほど多いが、年齢が上がるにつれて自分の部屋が多くなる。

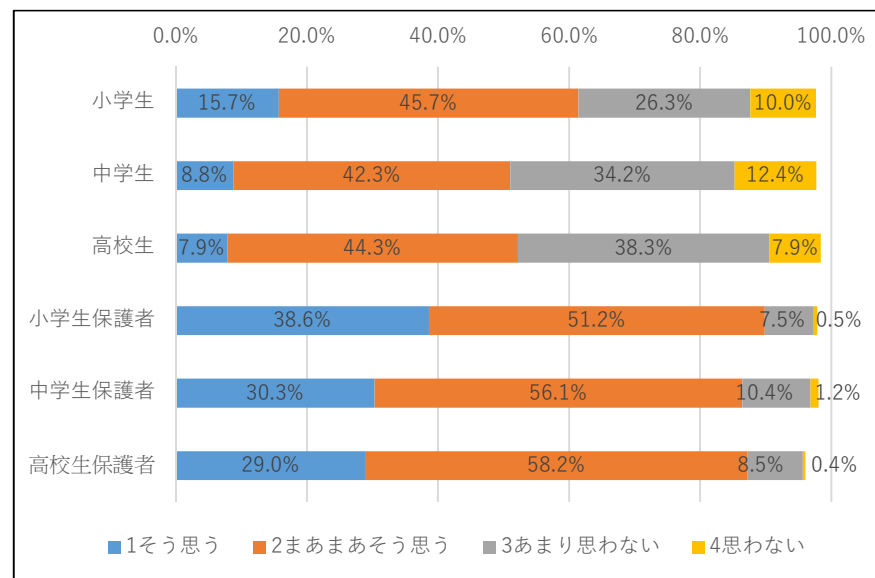
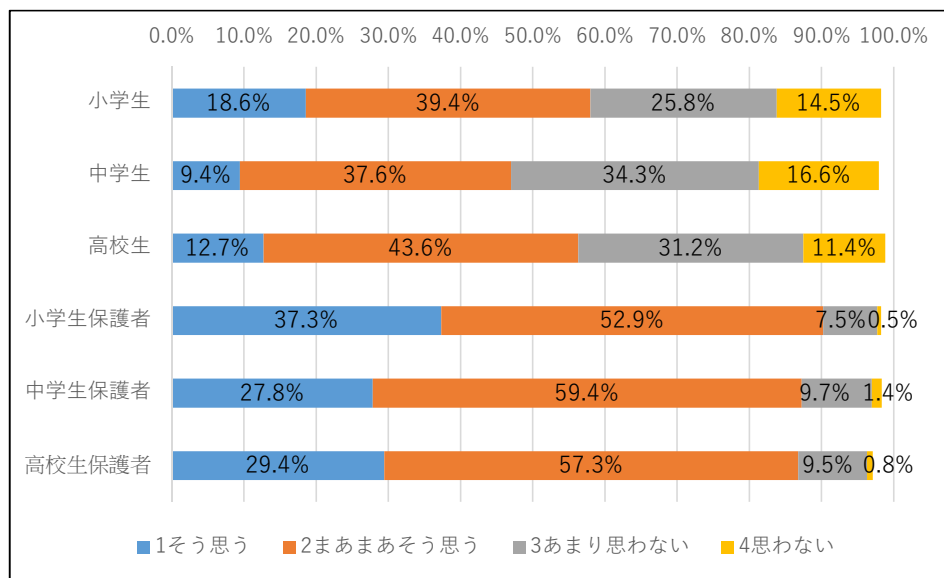
・保護者は小学生、中学生では家族と一緒にいる場所が多い。⁶

Q あなたは、自分のことについてどう思いますか。

Q お子さんは、自分自身のことについてどう思っているとお考えですか。

(1) 自分のことが好き。

(2) 自分は人から必要とされている。

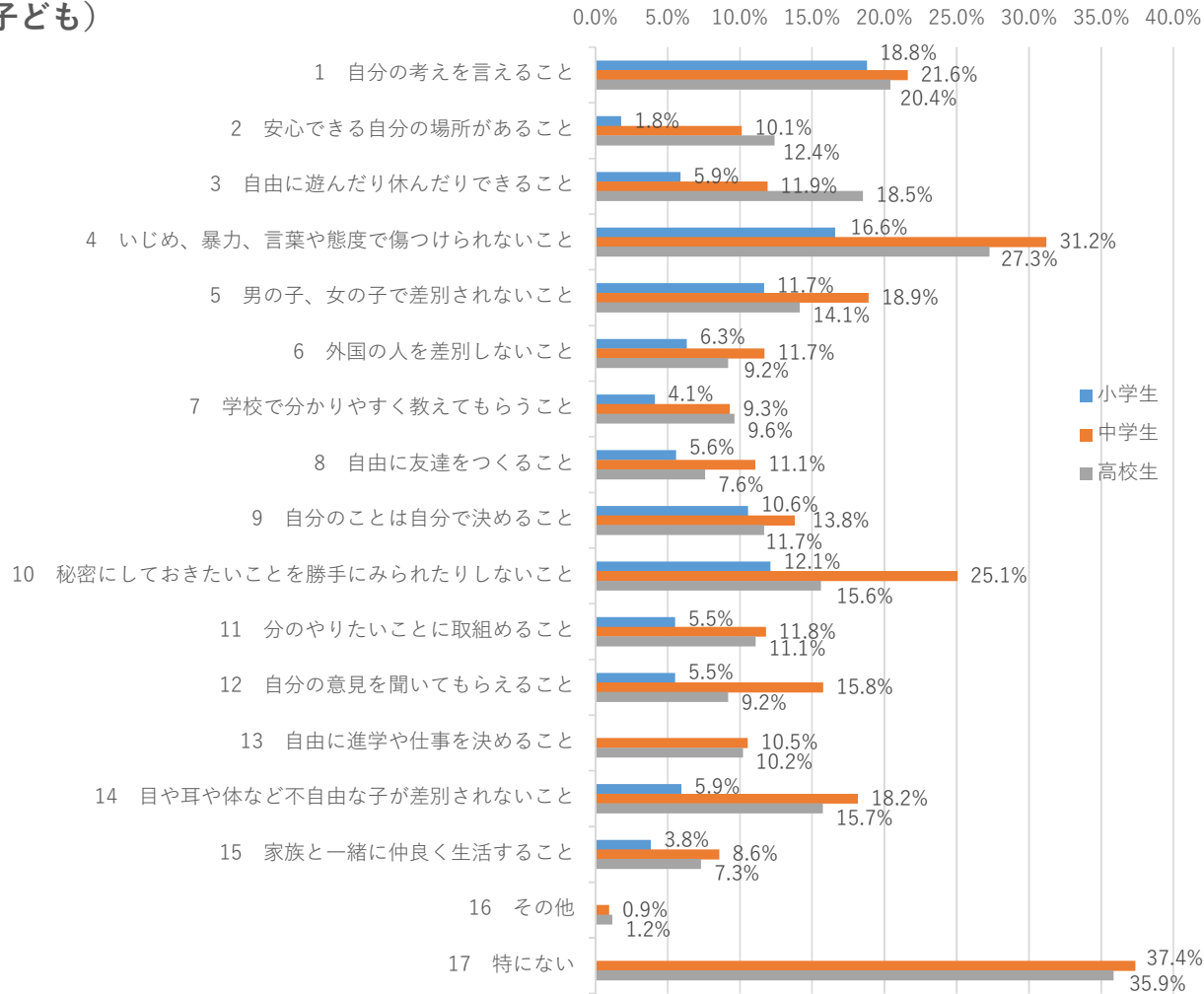


- ・自分のことが好きと思っている小学生、中学生、高校生は50%前後いる。
- ・お子さんが自分のことが好きと思っている保護者は、90%前後いる。
- ・人から必要とされていると思っている小学生、中学生、高校生は60%前後いる。
- ・お子さんが人から必要とされていると思っている保護者は90%前後いる。

Q あなたは（または、あなたから見て）、毎日の生活の中で「守られていない」と思うことは何だと思いますか。

Q あなたの子どもが、毎日の生活の中で「守られていない」と思うことは何だと思いますか。

(子ども)



(保護者)

